

科目名	乳児保育1（保育士必修）					
授業形態	講義	学年	1			
開講時期	2022年度 前期	単位数	2			
担当教員	宮崎 恵美					
内容および計画	<p>「乳児保育Ⅰ」では、「保育所保育指針」等の内容を踏まえて、乳児保育の理念と役割、そしてその歴史変遷、乳児保育の現状と課題について学ぶ。そして、3歳未満児の発育・発達から、3歳未満児に合わせた保育内容や環境、3歳未満児をもつ家族への支援の在り方について理解し、自分の考えを述べられるようになることを目指す。さらには、3歳未満児の保育を展開するに当たっての計画、記録、連携・協働について学ぶ。これらを基に、乳児保育の現状・課題について考察することを目指す。授業の展開方法は、事例や視聴覚教材等を通して、子どもの発育・発達の姿や生活および遊びの姿、保育者の関わり方、環境の構成、個人差の配慮、連携等を具体的に伝え、学生自身が考えるワークも盛り込む。</p>					
1	乳児保育Ⅰの導入 乳児保育の意義・目的と意役割①（乳児保育の意義・目的と歴史の変遷）					
2	乳児保育の意義・目的と意役割②（乳児保育の役割と機能）					
3	乳児保育の意義・目的と意役割③（乳児保育における養護及び教育）					
4	乳児保育の現状と課題①（子育て支援の現状と保育所における乳児保育）					
5	乳児保育の現状と課題②（様々な形での乳児保育）					
6	乳児保育の現状と課題③（保育所以外の児童福祉施設における乳児保育）					
7	乳児保育の現状と課題④（地域における子育て支援の場、実際）					
8	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育①（子どもの発育・発達前半）					
9	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育②（子どもの発育・発達後半）					
10	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育③（子どもの健康と3歳未満児の特徴）					
11	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育④（3歳未満児の生活と環境）					
12	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育⑤（3歳未満児の遊び）					
13	乳児保育における計画と記録					
14	乳児保育における職員間の連携・協働					
15	授業の振り返りと総括					
教科書						
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年	
	『講義で学ぶ乳児保育』	善本 眞弓	わかば社	9784907270285	2019	
講義を聞くだけではなく、できるだけ参加型で楽しい授業を目指します。3歳未満児の素晴らしい力や子育て家族の喜びと苦悩が感じられる授業にしたいと思っています。						
参考書	授業の中で、資料を配布する場合もある。					
成績評価						
	評価方法				割合(%)	
	授業態度				20	
	ミニレポート				40	
	期末テスト				40	

学習到達目標	
先修条件	
実務経験	実務経験あり：看護師・保健師：看護師として、小児看護・新生児看護に看護師・保健師・大学教員として13年以上従事してきた。現在は、地域子育て支援拠点事業の運営など地域における子育て支援の実践者として活動している。その経験、3歳未満児を育てる親子の現状を基に、乳児保育について教授する。
その他	